

平成 29 年 9 月吉日
海外事業担当役員様

株式会社自動車部品会館
協賛：(一社) 日本自動車部品工業会関東支部

シリーズ 成功する海外子会社の経営管理 (第 7 回目)
中国のビジネスリスクを踏まえた
「中国情報漏洩とその監査・対策」のご案内

拝啓

時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当社の事業につきまして、ご高配ご協力賜わり厚く御礼申し上げます。

日本企業が海外事業で成功するためには、日本では予想できない海外ビジネスリスクへの対応と海外事業の適確な経営管理が重要となってきました。海外子会社を取り巻く最新のビジネスリスクと日系企業の経営課題とその経営管理の基礎的事項を理解され、自社の海外事業を成功に導くための気付きとノウハウを参加者の方々に得ていただく事を目的の研修会を **【シリーズ 成功する海外子会社の経営管理】(第 7 回目)** として今回は「中国のビジネスリスクを踏まえた 中国情報漏洩とその監査・対策」のテーマにて平成 29 年 10 月 18 日 (水) に開催いたします。

研修内容の詳細は、別紙のとおりでございますので受講をご希望される方は別紙受講申込書により、平成 29 年 10 月 11 日 (水) までにお申込下さいますようご案内申し上げます。

敬 具

シリーズ 成功する海外子会社の経営管理（第7回目）
中国のビジネスリスクを踏まえた
「中国情報漏洩とその監査・対策」のご案内

■テーマ

中国のビジネスリスクを踏まえた中国情報漏洩とその監査・対策

■講師

コンサルティング株式会社

代表取締役社長 高原 彦二郎 氏

パートナーコンサルタント 谷藤 友彦 氏

パートナーコンサルタント 安藤 充 氏

■日程

開催日時：平成29年10月18日（水） 午前10時～午後5時まで

■開催場所

自動車部品会館 第1会議室（6階）

東京都港区高輪1-16-15（地図参照） 電話：03-5422-6351

■受講料

30,000円【税込】（テキスト・昼食代を含む）

JAPIA 会員会社は 18,000円【税込】

◎申込要領

- ① 受講申込書に受講者の会社名、住所、電話、所属、役職名および氏名を明記して、**10月11日（水）（必着）**までにFAXにてお申送ください。折り返し受付票をFAXいたします。
もし、申込み後に参加を取り消す場合は、必ずご連絡ください。
- ② 受講料の請求書を郵送いたしますので、銀行振込にて**10月11日（水）**までにお支払いください（振込手数料は貴社でご負担いただきますようお願いいたします）。
- ③ 講希望者が募集人数（**20名**）になり次第、締め切らせていただきます。
※申込み後のキャンセルは**10月11日（水）まで**といたします。以後のキャンセルはお受けいたしかねます。代理の方にご出席いただくか後日テキストを郵送させていただきます。
※受講希望者が少数の場合は中止となる場合がありますのでご了承ください。

◎申込先および問い合わせ先

自動車部品会館 総務部 飯島

電話：03-5422-6351 Eメール：ijima@japia.or.jp

シリーズ 成功する海外子会社の経営管理（第7回目）
中国のビジネスリスクを踏まえた
「中国情報漏洩とその監査・対策」のご案内

研修の趣旨

日本企業が海外事業で成功するためには、進出国でのビジネスチャンスの獲得チャレンジとともに、日本では予想しがたいビジネスリスクやクライシスへの対応が不可欠となります。

これら海外事業で発生するビジネスリスクやクライシスを的確に処置するためには、進出国の固有リスクへの理解はもとより、労務リスク、知財リスク、売掛回収リスク、不正リスク等、日本と異なるオペレーショナルリスク対応や、駐在員の誘拐等のクライシス対応に役立つ知識・ノウハウを本社・現地子会社が一体となって有し、問題発生時に迅速に対応する事が求められます。

本セミナーでは一年間のシリーズを通して、アセアン、中国、欧州・アフリカ・中東の海外子会社を取り巻く最新のビジネスリスクと日系企業の経営課題とその経営管理の基礎的事項を理解され、自社の海外事業を成功に導くための気付きとノウハウを参加者の方々に得て頂く事を目的としています。

今回は海外子会社を取り巻く最新のビジネスリスクの内、中国のビジネスリスクとして企業にとり大きなインパクトのある「中国情報漏洩」に関し実際の情報漏洩監査方法やその対策に関して解説します。

研修内容

I. 情報漏洩の基礎知識と対策

1. 情報システムの3つの脅威
2. 情報セキュリティマネジメントの実施ポイント
3. システム監査の実施ポイント
4. 中国情報漏洩と親会社への影響

II. 中国における情報漏洩監査の実際

1. 現場に密着した情報漏洩監査の進め方
 - (1) 監査実施前のセキュリティに関するアンケート調査
 - (2) リスクシナリオに基づく実地監査
 - (3) セキュリティに関する追跡調査
2. 情報漏洩対策
 - (1) 情報漏洩対策のフレームワーク
 - (2) 媒体別情報漏洩対策
 - (3) 情報漏洩対策の事例

講 師

高原 彦二郎

コンサルティング株式会社 代表取締役 中小企業診断士、事業承継士

1980年に出光興産(株)入社。1985年から出光興産(株)ロンドン支店、香港事務所副代表、北京事務所所長、2002年から出光興産(株)海外部海外課課長を歴任後に独立。出光興産在職中、中東駐在員脱出とテロリスト対応のクライシスマネジメント、海外店の内部監査、内部統制システム構築など23カ国の海外子会社経営管理等を経験。2005年7月にコンサルティング株式会社を設立。中国、アセアンを中心に、日系企業の経営内部監査、不正監査、内部統制システム等、会計、税務、労務、知財、債権回収、撤退、リストラ等の日本企業のビジネス・リスクマネジメントとソリューション提供として海外子会社の経営改善、現場改善、人事制度の構築等も手掛けている。

ジェトロの中国リスクマネジメント委員会委員、中小企業庁・中小機構の海外事業評価委員会委員等を歴任。「中国進出企業の労務リスクマネジメント（日本経済新聞社出版）」など、著書多数。

谷藤 友彦

コンサルティング株式会社 パートナーコンサルタント 中小企業診断士

大手コンサルティングファームの情報システム子会社、ベンチャー系のコンサルティング・教育研修会社を経て現職。メーカー系クレジット会社の基幹システムの設計・開発、エネルギー業・商社における新規事業・海外事業戦略立案支援、製造業における業務改革（BPR）、情報通信業におけるコンサルティング営業育成制度の策定プロジェクトなどに携わる。教育研修分野では、ITコンサルタント育成研修、提案営業研修、部下マネジメント研修、異文化コミュニケーション研修などを開発。著書に『中小企業のための海外進出リスクマネジメント』（りそな総合研究所）、『図解でわかる品質管理 いちばん最初に読む本』（アニモ出版）（いずれも共著）など。

安藤 充

コンサルビューション株式会社 パートナーコンサルタント 中小企業診断士
システムアナリスト

1985年大手ソフトウェア会社にてシステムエンジニアとして従事後、2004年から複数社の日系中国工場の現場改善や製品別コスト管理の仕組み作りのコンサルティングを展開する。また、国内企業における個人情報流出事件の調査・改善提案や日系中国工場の情報セキュリティに関する監査・コンサルティングを実施する。HSK6級合格の中国語を活かし、三現主義（現場・現物・現実）に徹したコンサルティングを展開する。

FAX 03-3447-5372

自動車部品会館 飯島宛

10月18日

成功する海外子会社の経営管理（第7回目）

申込日： 年 月 日

会社名：

送り先住所： 〒

TEL：

FAX：

所属・役職：

氏名：

ローマ字：

よみ：

備考：

※申込書受付票を折り返しFAX致しますので、必ずFAX番号もご記入ください。